

1. 案件の概要

(1) 案件名

(和文) 平成 28 年度国別研修南アフリカ「初等算数科における教員の授業実践能力向上」

(英文) Country focused training on “Improving teaching skills in arithmetic in primary schools”

(2) 研修期間 平成 28 年 11 月 14 日～平成 28 年 12 月 9 日

(3) 研修員数 16 名 (うち 3 名早期帰国)

(4) 国立大学法人 鳴門教育大学 研修コースリーダー 小野 由美子

2. 案件目標 (アウトカム) と単元目標 (アウトプット) の達成度

(1) 案件目標 (アウトカム)

案件目標:

算数教育の改善のための具体的な計画を作成すること、とくに算数の授業実践の改善に焦点を合わせたもので、南アフリカにおいて実施可能なもの。

指標:

所属する州ならびに地域の現状を踏まえた上で、州別に実施可能なアクションプランを作成する。

(2) 単元目標 (アウトプット)

単元目標①:

生徒が獲得すべき学力を明らかにし、その評価問題を作成することができる。

指標:

研修成果を踏まえて改善した分数の授業案について、生徒に獲得させるべき分数の概念を抽出し、分数概念の理解、スキルを評価する問題を作成できているかどうか、4段階評価が B (やや優れている) 以上。

単元目標②:

獲得すべき学力を身につけることができる授業を開発する能力が強化される。

指標:

研修員が作成した授業案の内容構成ならびに模擬授業後のコメントを評価し、その4段階評価が B (やや優れている) 以上。

単元目標③:

日本の授業研究における学び合いの手法に関する理解を深める。

指標:

模擬授業後の授業検討会でのファシリテーションならびにコメントを評価し、その4段階評価が B (やや優れている) 以上。